

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和06年09月10日

計画の名称	「吉野・高野・熊野の国」の連携による世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」地域の観光地域活性化（重点）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	和歌山県												
計画の目標	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録されている観光資産を活用し、「吉野・高野・熊野の国」事業実施委員会により、両県一体となり観光促進のための社会資本整備を実施することで広域的な交流の促進、観光活性化を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	949	A	949	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H30末	中間目標値 R5末	最終目標値 R6末
1	【和歌山県・三重県 共通目標】 観光入込客数1,714万人（H30）から1,885万人（R6）に増加（171万人（10%）の増加） 【和歌山県・三重県 共通目標】 観光入込客数1,714万人（H30）から1,885万人（R6）に増加（171万人（10%）の増加） 観光入込客数	1714万人	1853万人	1885万人
2	【和歌山県 重点目標】 和歌山県（新宮市・田辺市・白浜町・那智勝浦町・かつらぎ町・高野町・九度山町・すさみ町）における観光入込客数1,482万人（H30）から1,630万人（R6）に増加（148万人（10%）の増加） 【和歌山県 重点目標】 和歌山県（新宮市・田辺市・白浜町・那智勝浦町・かつらぎ町・高野町・九度山町・すさみ町）における観光入込客数1,482万人（H30）から1,630万人（R6）に増加（148万人（10%）の増加） 和歌山県（新宮市・田辺市・白浜町・那智勝浦町・かつらぎ町・高野町・九度山町・すさみ町）における観光入込客数	1482万人	1600万人	1630万人
3	【和歌山県 単独目標】 拠点施設を結ぶ観光ルートにおける1日当たりの総アクセス時間を3時間・台/日（R6）短縮する 【和歌山県 単独目標】 拠点施設を結ぶ観光ルートにおける総アクセス時間短縮効果を算出 (アクセス短縮時間効果) = (整備前のアクセス時間 - 整備後のアクセス時間) × 日交通量（H27交通センサス）	0時間・台/日	時間・台/日	3時間・台/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
全体事業費に占める効果促進事業費（提案事業）割合は、0%となる。 その他事項については（参考様式2）整備計画関連事項に記載。														

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域連携事業	A11-001	道路	一般	和歌山県	直接	和歌山県	都道府 県道	改築	(一)志賀三谷線 教良 寺~三谷	現道拡幅(L=400m)	かつらぎ町						100	-		
		紀伊半島振興計画																		
	A11-002	道路	一般	和歌山県	直接	和歌山県	都道府 県道	改築	(主)高野口野上線 天 野~星山	現道拡幅(L=200m)	かつらぎ町						153	-		
		紀伊半島振興計画																		
	A11-003	道路	一般	和歌山県	直接	和歌山県	都道府 県道	改築	(主)那智勝浦熊野川線 西、赤木	現道拡幅(L=100m)	新宮市						200	-		
		紀伊半島振興計画																		
	A11-004	道路	一般	和歌山県	直接	和歌山県	都道府 県道	改築	(主)那智勝浦古座川線 川関~田垣内	現道拡幅(L=600m)	那智勝浦町						208	-		
		紀伊半島振興計画																		
	A11-005	道路	一般	和歌山県	直接	和歌山県	都道府 県道	改築	(一)龍神十津川線 丹 生ノ川	現道拡幅(L=500m)	田辺市						288	-		
		紀伊半島振興計画																		
											小計						949			
											合計						949			

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制 和歌山県県土整備部にて事業効果の発現状況等を評価	中間評価の実施時期 令和6年8月
	公表の方法 和歌山県ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	県道志賀三谷線等の道路改良の整備により、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の構成遺産等の観光施設を巡る周遊時間が短縮され、観光ゆとり時間の増加や観光施設訪問箇所の増加したことで、観光周遊支援に資することができた。 しかしながら、観光入込客数について、新型コロナウイルス感染症の影響が残っているため、中間目標値を達成するのは困難であった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
早期供用に向け引き続き事業進捗を図り、アクセス時間の短縮を図るとともに、観光周遊を促進し、更なる観光活性化を図る。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	和歌山県と三重県の観光入込客数		
	中間 目標値	1853万人	近年新型コロナウイルス感染症が5類に移行されて観光客数が回復傾向にあるものの、未だ新型コロナウイルス感染症の影響が残っているため
	中間 実績値	1457万人	
和歌山県の観光入込客数			
2	中間 目標値	1600万人	近年新型コロナウイルス感染症が5類に移行されて観光客数が回復傾向にあるものの、未だ新型コロナウイルス感染症の影響が残っているため
	中間 実績値	1285万人	
	和歌山県の観光入込客数		
3	中間 目標値	時間・台/日	
	中間 実績値	時間・台/日	